

グリーン・モビリティ・カフェ

～「移動困難者とその支援」～

都市整備局の取組について

横浜市都市整備局都市交通課

橋詰 勝彦

2013年12月1日(日)

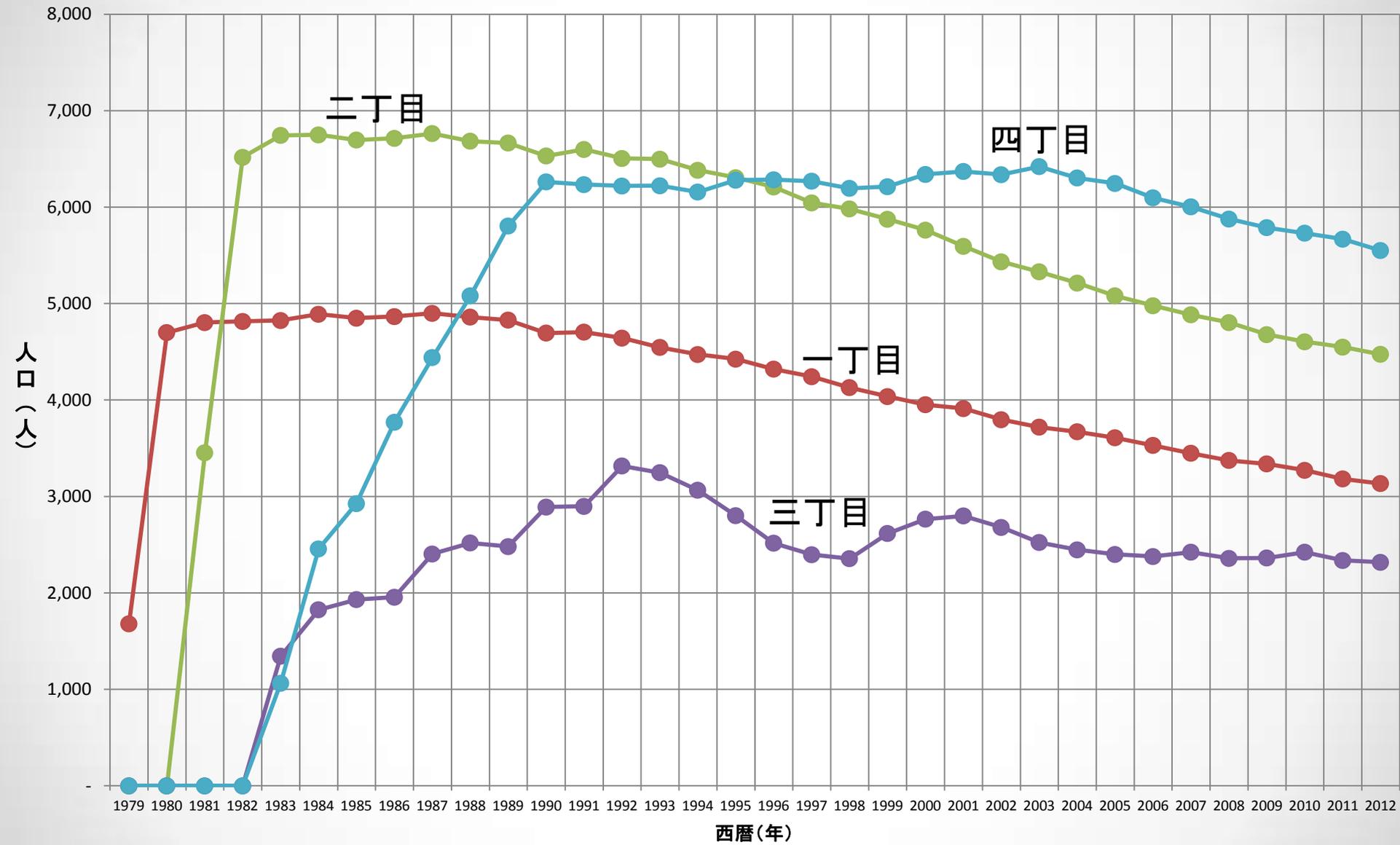
・若葉台団地・地域交流サロンふれあいにし



若葉台案内図

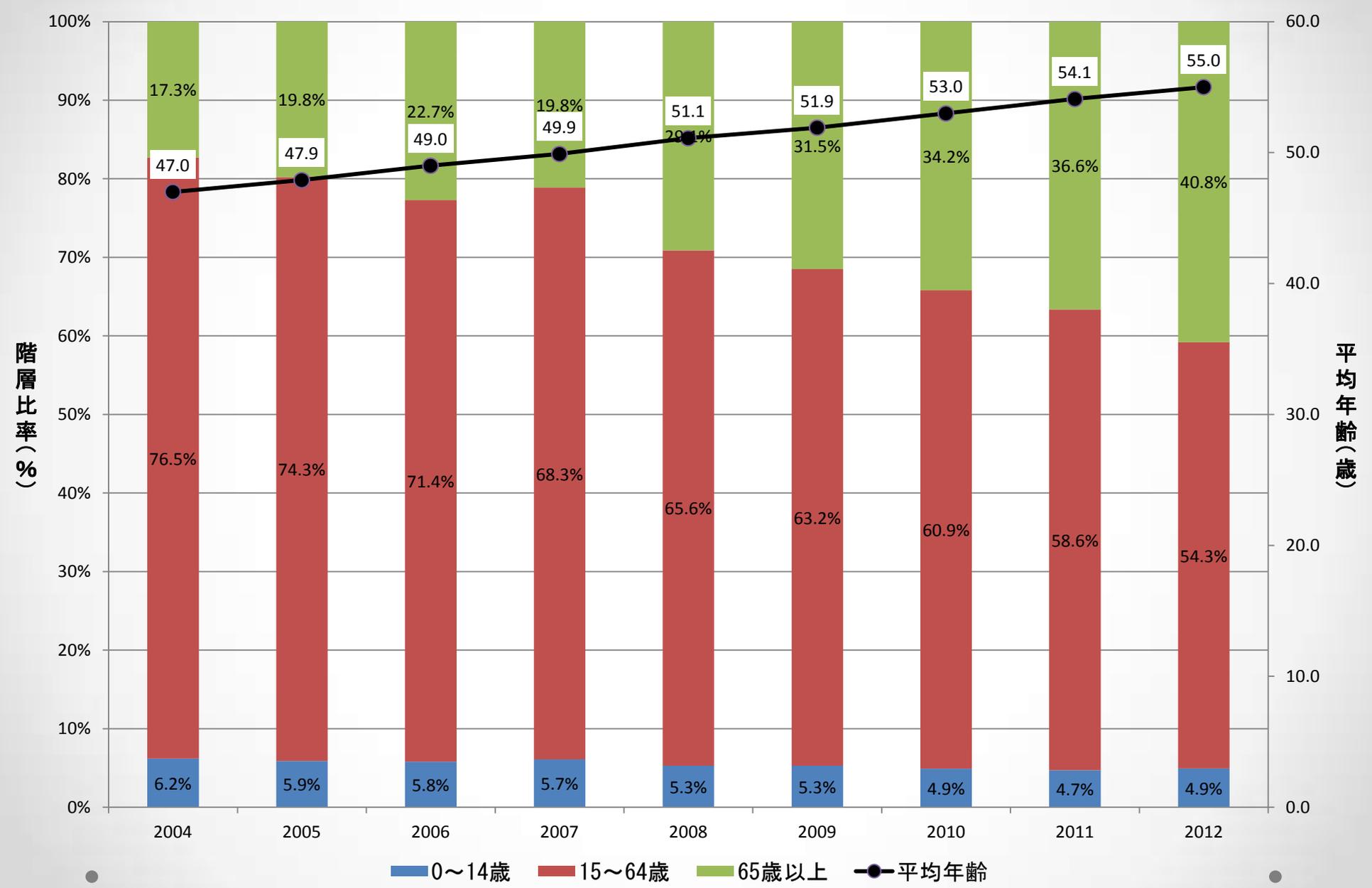


若葉台団地の人口の推移(1979~2012)

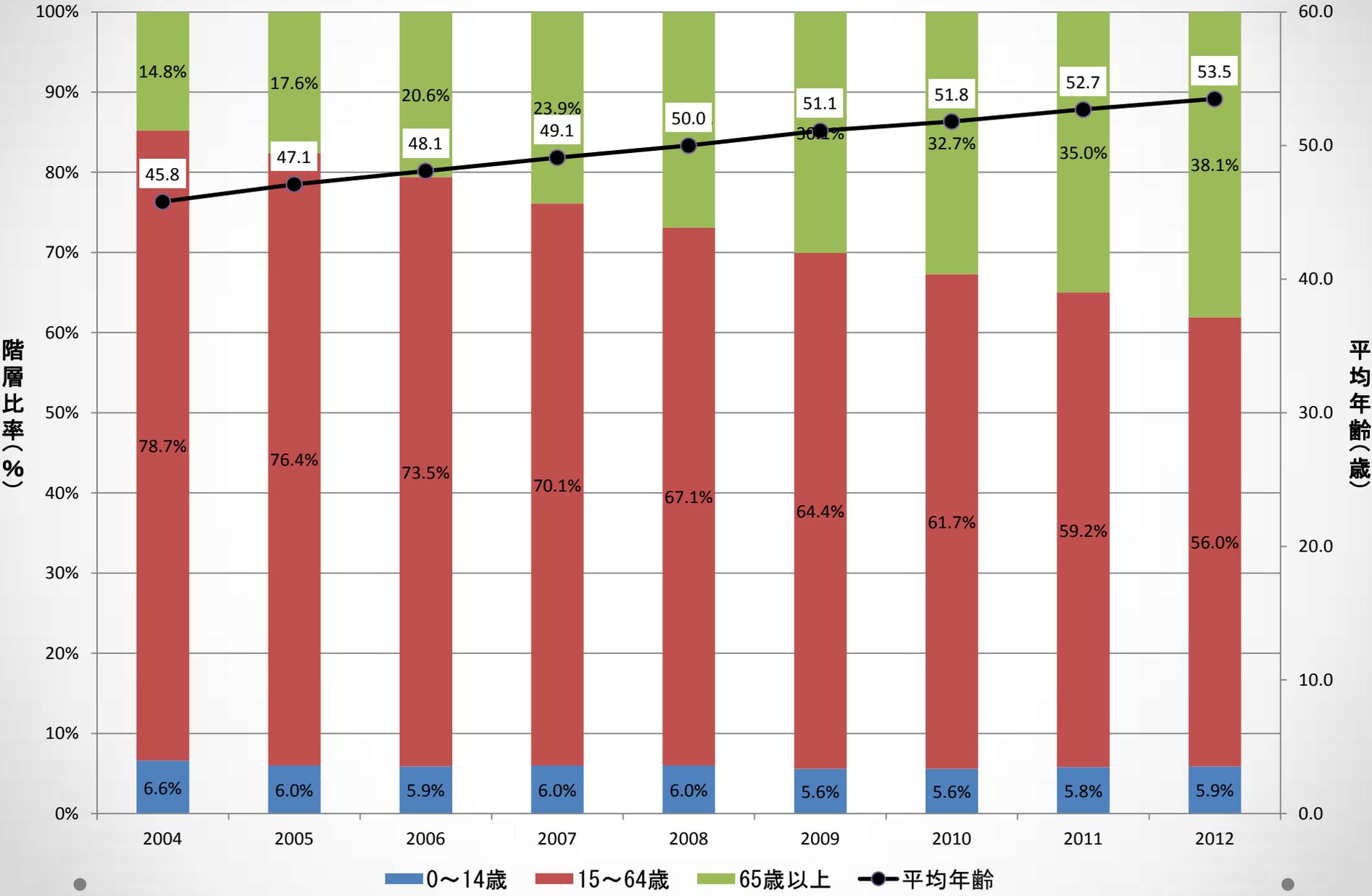


● 若葉台一丁目 ● 若葉台二丁目 ● 若葉台三丁目 ● 若葉台四丁目

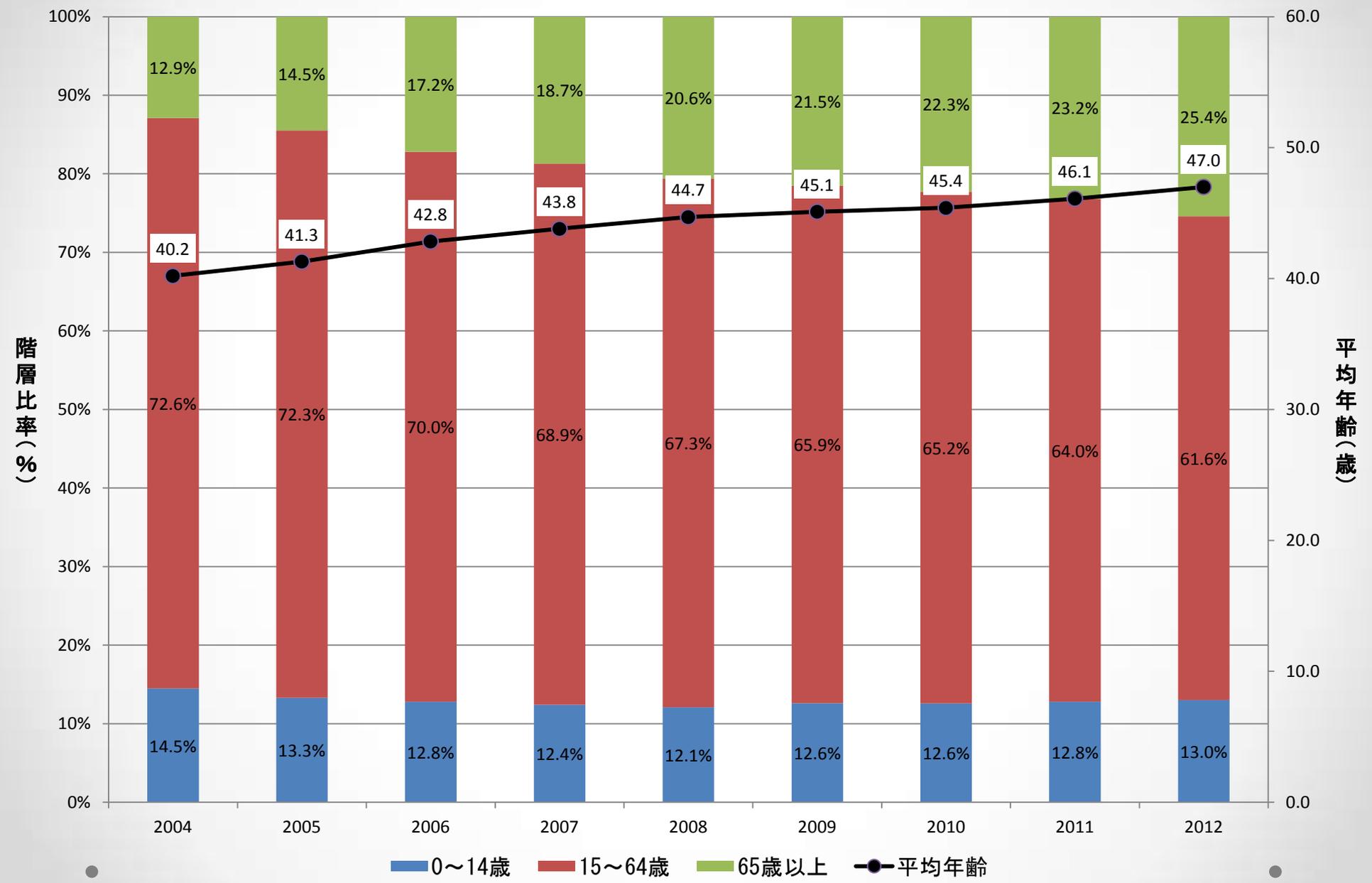
若葉台一丁目の年齢階層比率と平均年齢の推移



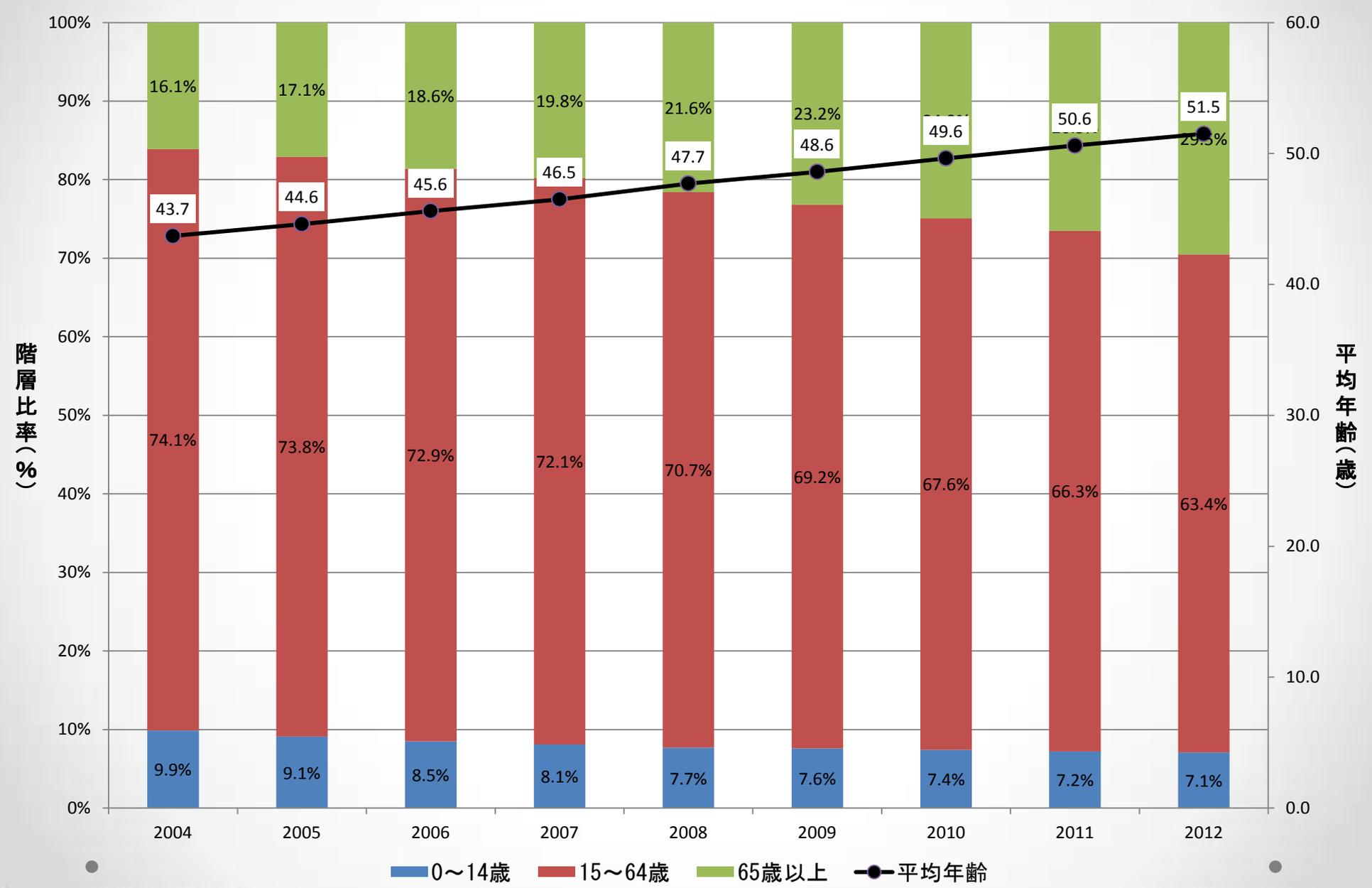
若葉台二丁目の年齢階層比率と平均年齢の推移



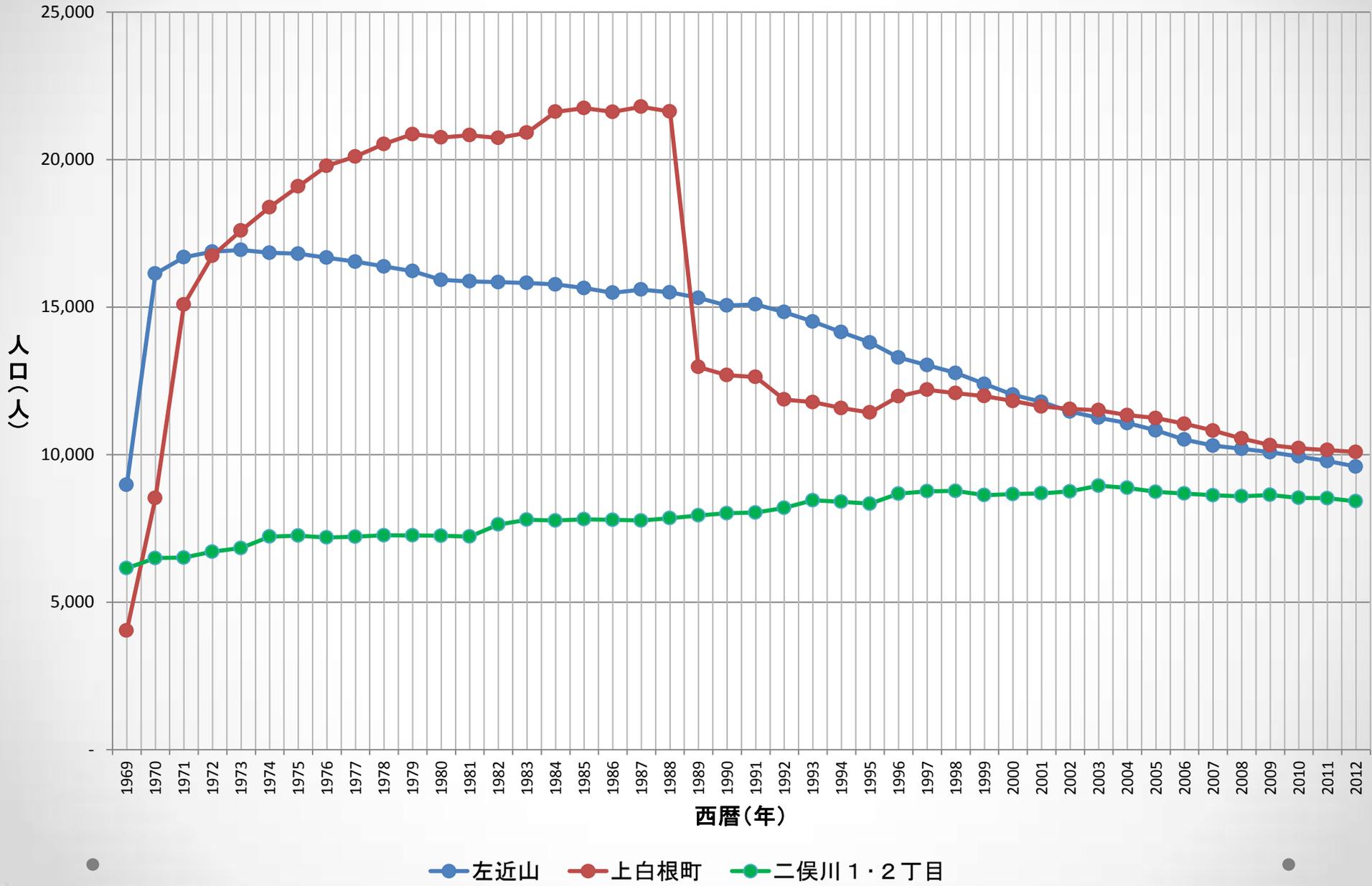
若葉台三丁目の年齢階層比率と平均年齢の推移



若葉台四丁目の年齢階層比率と平均年齢の推移

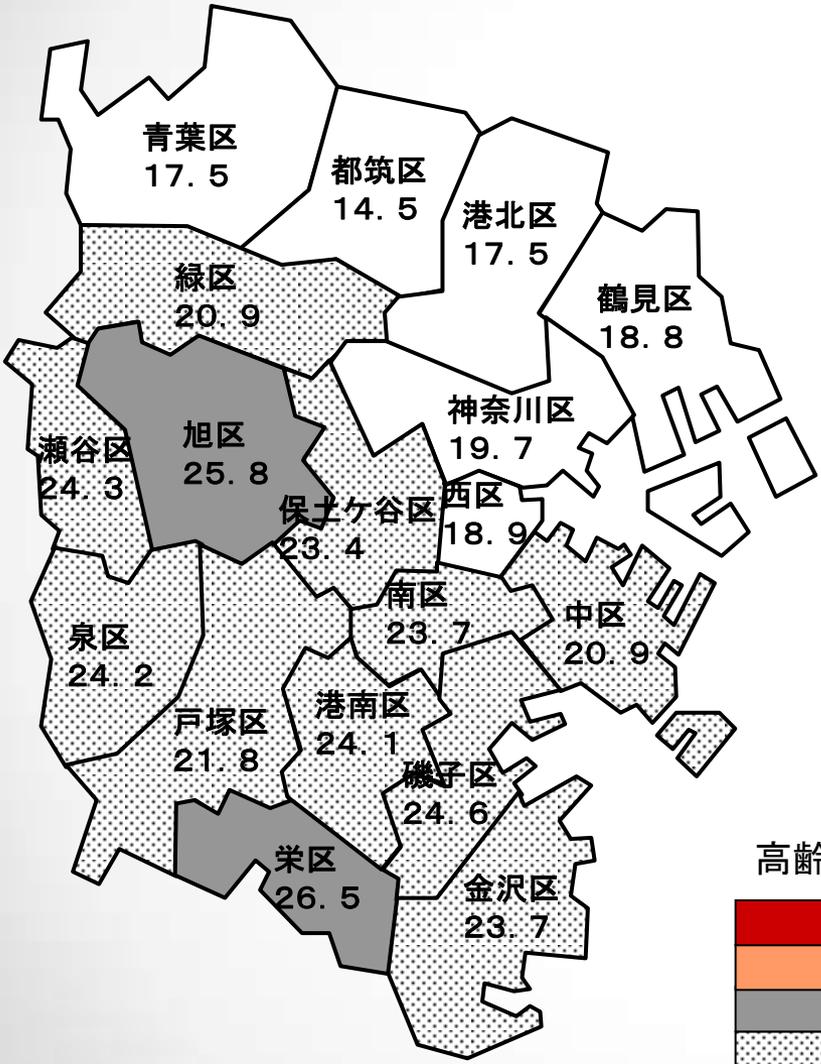


[参考]左近山・上白根・二俣川地区の人口の推移



横浜市の高齢化率は。。。将来は。。。

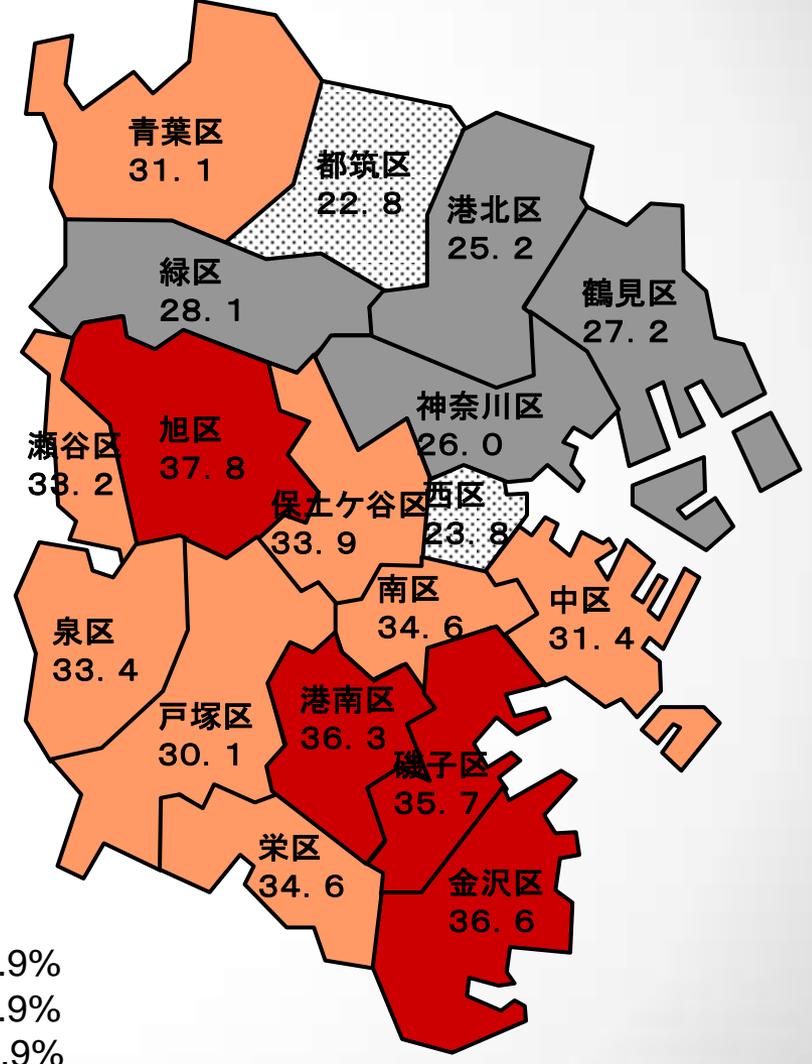
区別の高齢化率(2013年1月1日現在)



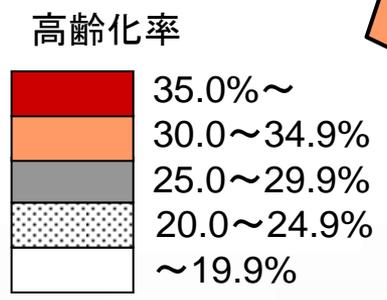
横浜市全体: 21.3%

22年後は
→

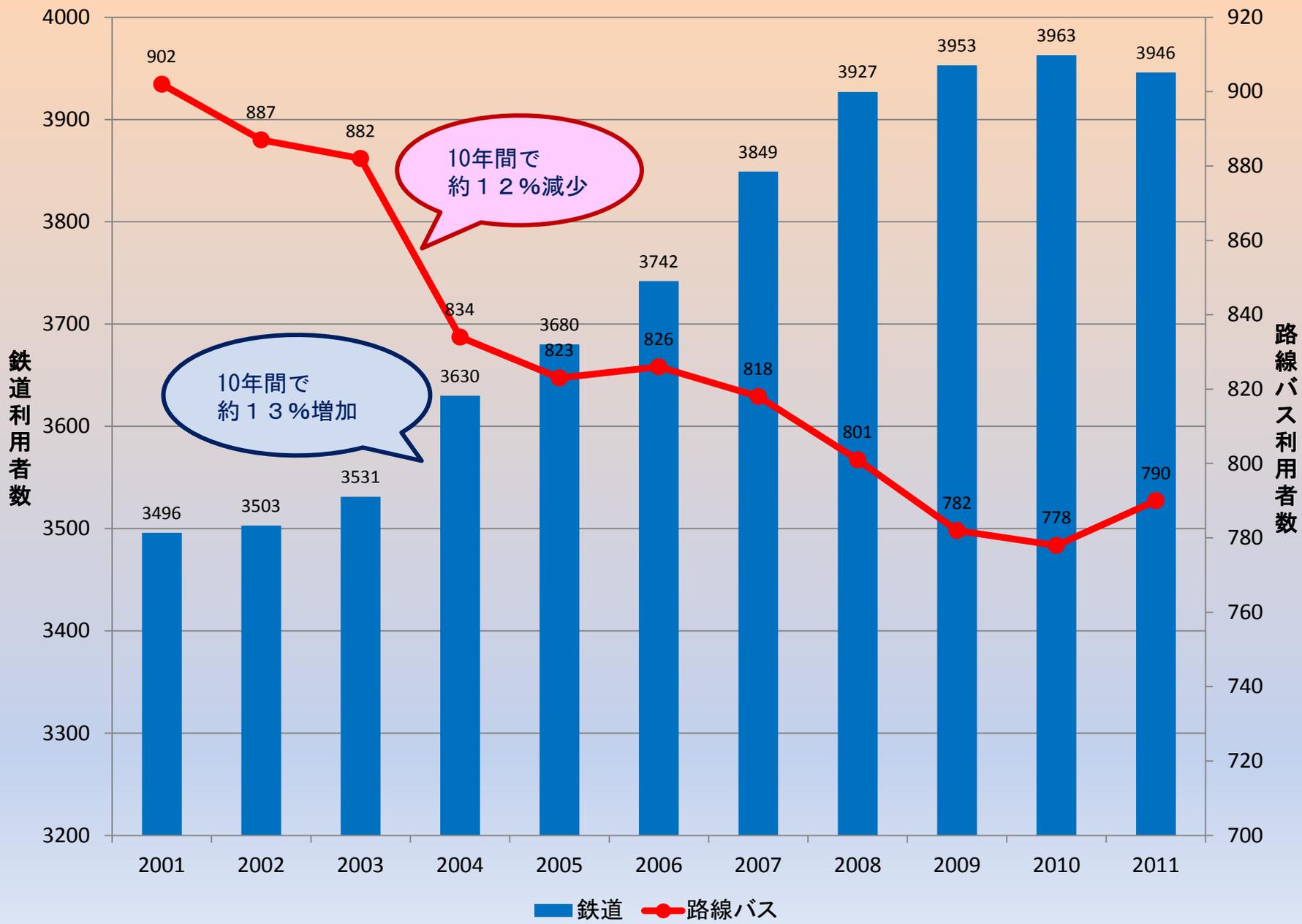
区別の高齢化率(2035年推計値)



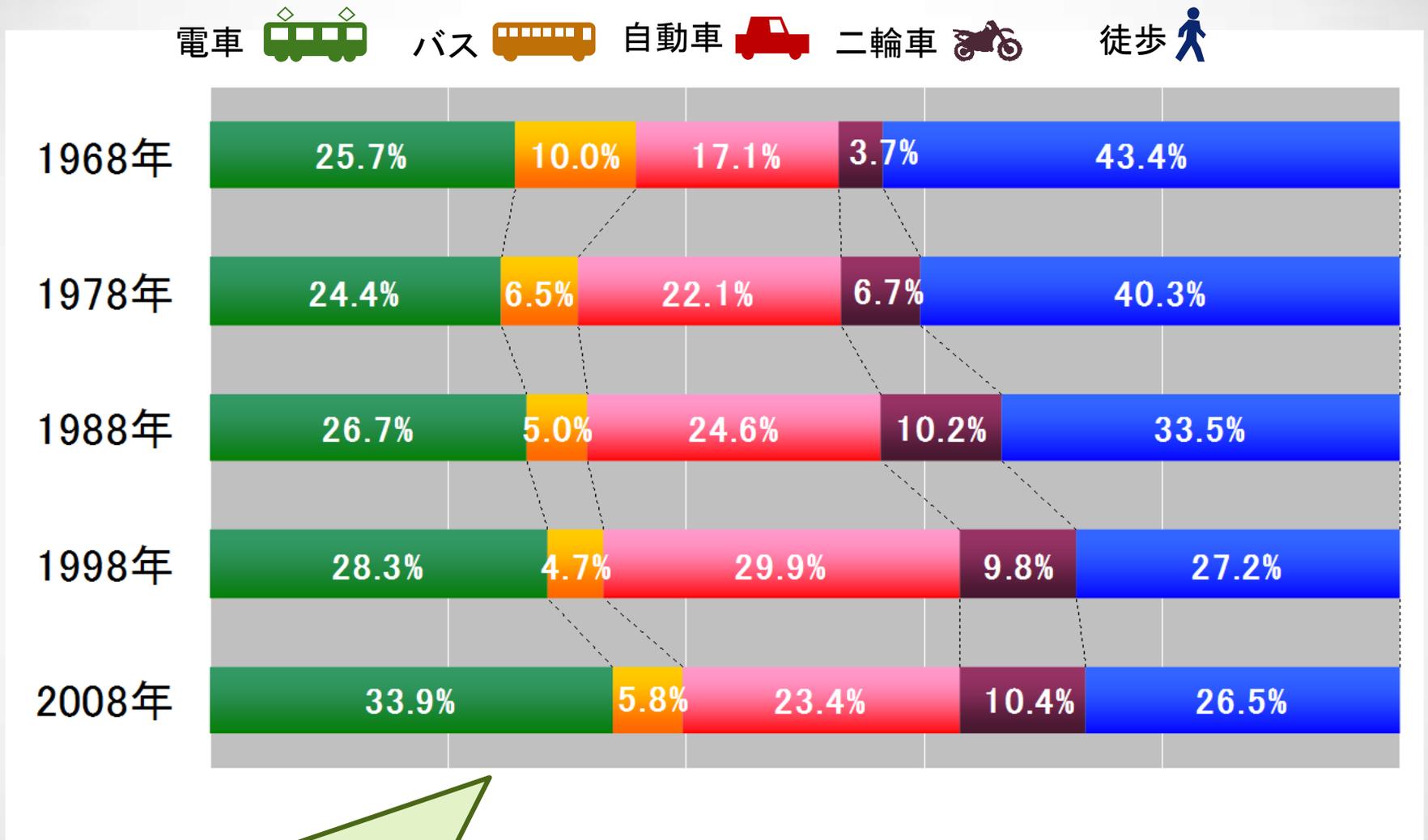
横浜市全体: 30.4%



横浜市の鉄道・路線バス利用者数の推移(千人/日)



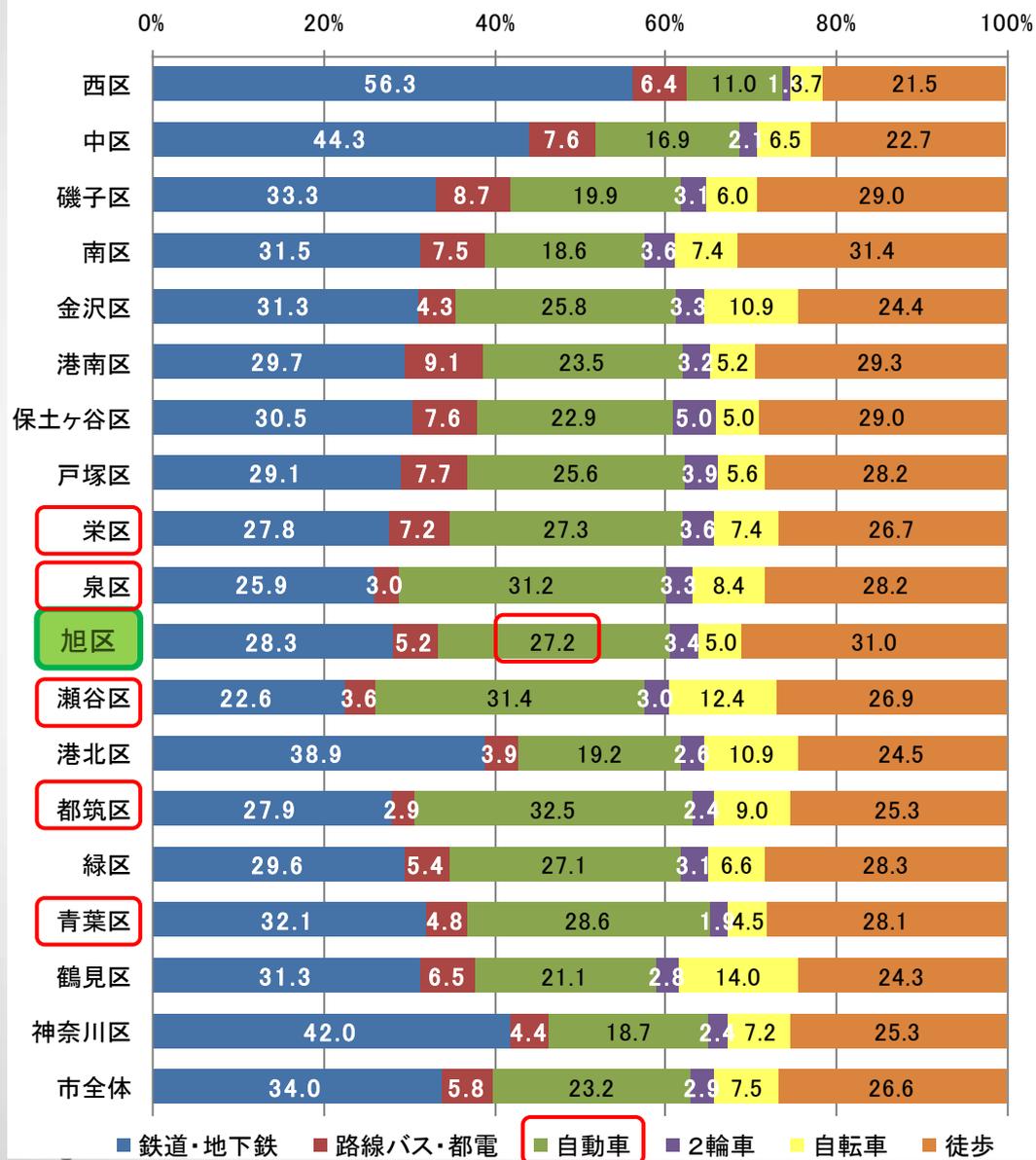
横浜市の代表交通機関分担率の推移(1968～2008)



環境や公共交通の持続性を考えると、
鉄道・バスの利用比率が増えた方がよい。
結果として、道路渋滞も減り、速達性も上がる。

出典) 東京都市圏パーソントリップ調査

横浜市の区別代表交通機関分担率



郊外区で自動車利用が多い傾向がある。

出典：2008東京都市圏PT調査

少子高齢化を踏まえた交通施策の例

●ユニバーサルデザイン(UD)タクシーの普及促進

●モビリティマネジメントの実施

●地域交通部会の設置・運営

ユニバーサルデザイン(UD)タクシーの普及促進

■ UDタクシーとは

健常者に限らず、高齢者、妊産婦、子供連れ、車いすの方(車いすのまま乗車することを想定)など、誰でも利用できる構造(ユニバーサルデザイン)のタクシー車両であって、流し営業などの通常のタクシー営業に用いるもの。



■ UDタクシーの普及促進

- 横浜市では、UDタクシーを購入するタクシー事業者に対して購入補助金を交付し、普及を促進しています。
- 今年6月28日に、関係者の協力のもと、横浜駅東口タクシープラザにおいて、UDタクシー・EVタクシーの専用待機レーンを設置し、普及促進や利用者の皆様の利便性向上を図っています。

普及促進に向け、都市整備局(交通部門)と健康福祉局(福祉部門)が、連携して取り組んでいます！



モビリティマネジメント

渋滞や環境、あるいは個人の健康等の問題に配慮して、**過度に自動車に頼る状態**から公共交通や自転車などを『かしこく』使う方向へと**自発的に転換**することを促す、一般の人々や様々な組織・地域を対象としたコミュニケーションを中心とした持続的な一連の取り組み

まずは。。。

- ①身近な公共交通を認識してもらう。
← **路線バスマップ**・乗り方などの基本情報の周知
- ②公共交通がさまざまな面(健康、環境等)で良いことを認識してもらう。
← 公共交通利用の良い点をリーフレットで紹介
- ③自分のこれまでの行動を振り返り、反復してもらう。
← いつもどのような交通手段を選んでいるか認識する。

気付いてもらうことで、自分から、公共交通の利用を優先して考えるようになる。

学校や企業、地域(自治会)、バス路線沿線、地下鉄沿線などで取り組んでいる。

モビリティマネジメント：区別バス路線マップの作成 [旭区]



旭区便利帳「さんさんガイド」にとじ込み、区役所で転入者を中心に配布。

【表面】

- ・系統毎に色分け
- ・線の種類で運行本数を表現
- ・区役所と連携して主要施設を掲載

【裏面】

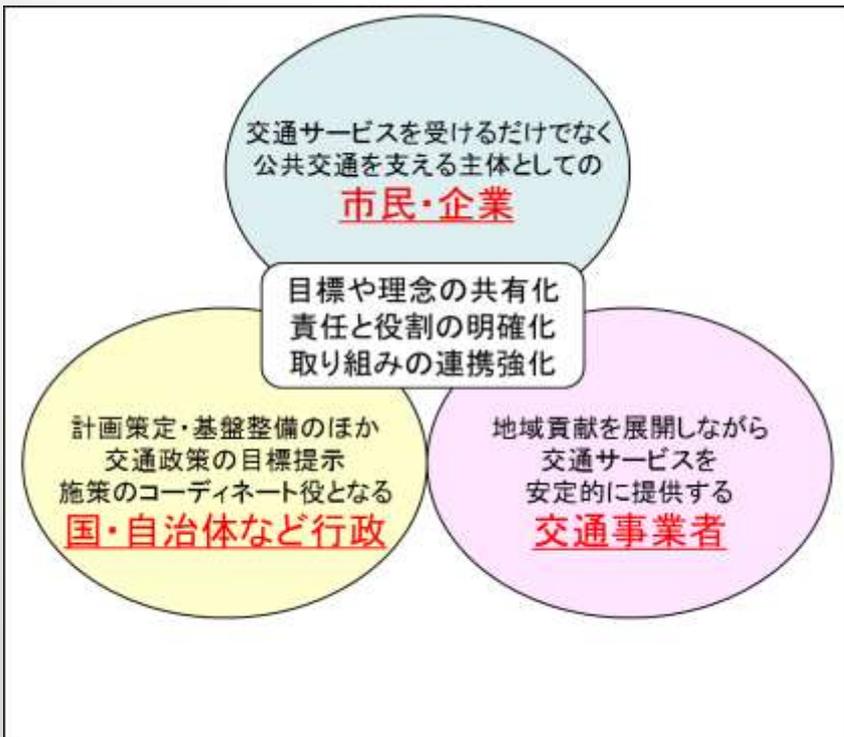
- ・主要ターミナル&乗場案内
- ・八つ折にすればコンパクトに！



地域交通部会の設置・運営(横浜市交通政策推進協議会)

横浜市では、市民・企業・交通事業者・行政等による議論の場を設置・運営するとともに、多様な主体が参加する交通施策推進体制を構築しています。

交通政策推進体制のイメージ



横浜市交通政策推進協議会(2008年7月設立)

- ・学識経験者
- ・市民代表
- ・交通事業者(鉄道・バス・タクシー)
- ・交通管理者
- ・経済団体
- ・行政(国・市)

鉄道部会

- ・市内鉄軌道事業者(7者)

バス交通部会

- ・市内バス事業者(10者)、バス協会

モビリティマネジメント推進部会

- ・公共交通を応援する市民、団体

地域交通部会

- ・多様な地域交通の担い手

地域交通部会の設立・運営

【部会の目的】

地域交通の担い手を中心として、高齢社会に対応した公共交通・福祉交通のあり方の検討をはじめとした横断的な取組とし、メンバーがそれぞれの取組の課題を認識し、課題の解決と新たなビジネスモデルについて議論することを目的としています。

【メンバー】

- タクシー事業者(2社)
- バス事業者(1社)
- 福祉有償運送関係団体(2者)
- 地域交通サポート事業者(1社)
- 横浜市(健康福祉局、こども青少年局、道路局、都市整備局)
- 国土交通省関東運輸局(オブザーバーとして参加)



多様な交通事業者が参画するとともに、横浜市の交通部門と福祉部門が連携して、今後の地域交通について議論を進めています。
【2012年12月設立】

ご清聴

ありがとうございました。

